

長畝ふるさと通信

【2012年3月号】

■ いつまで続く冬景色



3月を過ぎても一向に春の気配が感じられません。田んぼに積もった雪も消えては積もり、また消えては積もり…島の北側にそびえ立つ金北山も雪化粧のままの姿でとても寒そうです。いつもなら田んぼで畦を切る百姓の姿が今年は見られません。そんな中、無理矢理見つけた「春のたより」をご紹介します。



田んぼの畦に群生するフキノトウ
天ぷらにするとほろ苦い春の味



春が待ち遠しくて顔を出したつくし。足下にはまだ雪が…



ヤマアカガエルの卵塊
田んぼの水面に浮いています



田んぼの土手にいくらでも生えているカラシナ
さっとお湯にくぐらせて、お酒のおつまみに

■ 3月の農作業

春の訪れを待ってはいられません。田んぼ作業は着々と進められています。



① トラクターでの「畦塗り」「耕耘」作業です。畦塗りは田んぼに入れた水を漏らさないように畦を土で固める作業です。耕耘は田んぼに水を入れて、固まっていた土を細かく砕きながら、田面を平らにしていきます。4月に入ると肥料を播いて、さらに田面の土を細かくして苗を植えやすいように真っ平らの状態にします(代かき)。ここまでやれば田植えの準備は完了します。

② 種もみの準備 → 2月に「温湯消毒」した種もみは、更に病気にかからないよう生物農薬(微生物の力で病細菌を抑えます。化学合成農薬ではありませんので安心です)で消毒し、約2週間浸水します。この間に種もみは十分に体に水分を貯め込み、飴色に姿を変えて、芽を出す準備をします。4月に入るといよいよ「種まき」がはじまります。



■ 田植え体験ツアーにご参加下さい。

昨年、震災の影響で企画倒れした「田植え体験ツアー」を今年こそは実現します。朱鷺の暮らす佐渡で田植えをしてみませんか？ みなさんのご参加、お待ちしております。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

